

瀬戸内国際芸術祭2013

秋シーズン in 栗島

いよいよ始まります!!!

秋会期：10月5日(土) - 11月4日(月)



日比野克彦
瀬戸内海底探査船美術館プロジェクト
「一昨日丸」が出現。また、栗島海洋記念館に海の底から発見されたものから思いをめぐらせる「ソコソコ想像所」ができる。



作品鑑賞パスポート秋シーズン券 9月2日(月)より販売開始

瀬戸内国際芸術祭2013秋シーズンには栗島で13作品、須田港で1作品が展示されます。お得な鑑賞パスポートを使って、芸術祭を楽しんでください!

- ・一般4,500円/前売り4,000円
- ・高校生3,000円/前売り2,500円
- ・中学生以下無料

お近くの販売窓口で

三豊市観光協会、チケットぴあ、全国のJTB各店舗、コンビニ各店舗のチケット発券機(一部取り扱いなし)など

▶問い合わせ 市観光協会 ☎56-9121
瀬戸内国際芸術祭チケットセンター ☎087-811-7921

▶問い合わせ 産業政策課 ☎73-3013

この機会にぜひ栗島を訪れてください!!!

じんけん探訪31

高齢者の人権

■孤独とストレス

高齢者による万引きが急増しています。万引きといえば少年たちが興味本位でやっているように思われていました。ところが、2012年度に香川県警が摘発した万引き容疑者は、高齢者(32・8%)が初めて少年(28・1%)を上回りました。不況による影響に加え、高齢者の孤立化も大きな背景とみられ、家族や地域社会の取り組みが求められています。



香川大学と香川県警の調査(万引き容疑で取調べを受けた180人対象)によると、万引きの場所は高齢者はスーパー85・7%で、青少年はコンビニや書店が69・0%です。また、青少年は51・7%が複数犯ですが高齢者は100%単独犯です。万引きを決意した時は、青少年は入店前が59・8%で計画性が高く、高齢者は入店後が76・2%で突発性が高くなっています。

高齢者の場合、相談できる人がいないのが33・3%、独居が35・7%で、他世代と比較すると孤独であることがわかります。高齢者が孤立していると、ストレスなどから万引きを起こす可能性が高いと関係者は指摘しています。家庭や地域で高齢者への声かけなどに心がけてほしいものです。(参考『万引き防止対策に関する調査と社会的実践』大久保智生)

▼問い合わせ
人権課 ☎73・3008

みとよ暮らし みとよ時間

三豊市への移住・定住ポータルサイト みとよ暮らし手帳



市の空き家バンクを使ってみとよ暮らしをはじめた照屋裕久さん(70)・博子さん(66)にインタビューしました。「12年前はじめて、瀬戸内の海を見たとき、穏やかでなっていて美しいだろうと感じました。伊豆高原でお店を営んで16年9カ月。これまで忙しい毎日時間に追われる生活でしたので、70歳を機に環境を変え、自分の時間を大切にしよう」と、移住に踏み切りました。この空き家は、移住者向けのものと市の空き家バンクで紹介されていました。家を探しに来たとき、不動産屋さんに優しく接していただき、感謝しています。家の前に瀬戸内海が広がっていることや、紫雲山からの景観が素晴らしいことが、ここを即決した理由のひとつです。

私たちの思う田舎暮らしは、「地元の人とコンタクトを取り、文化に親しみながら生活をしていくこと」。この間も小学校であったバーベキュー大会に参加させてもらったり、浦島伝説にちなんだ常世亀(とこよがめ)の除幕式に行ったりと地域の行事を楽しんだり。地元の皆さんは本当に親切で、散歩をしても気軽に声をかけてくれ嬉しです。浦島伝説が残るような田舎でありながら、車で15分、20分走るとスーパーも銀行も、お医者さんも充実しているところもまたこの魅力。田舎とまちの良さが時間がかからず両方楽しめます。今は、自分たちの健康づくりのために散歩をしたり、綺麗な夕日を眺めたりして、自分たちの時間を楽しんでいます。」

市では、定住促進の補助金や支援メニューを用意しています。「みとよ暮らし」のために、ぜひご利用ください。
▼問い合わせ
田園都市推進課 ☎73・3011

全コース 軽食付き 参加者募集 秋のまちあるきコース ご紹介!!!

▶申し込み・問い合わせ 「七福求めて ぶら〜り みとよ」事務局(商工会豊中支所内) ☎62-2275

来てみ〜の! 古代ロマン回想散歩と 味噌作り体験

日時 11月2日(土)
8:45集合
集合場所 三野町保健センター
参加料 2,500円
定員 15人

宗吉かわらの里展示館にて古代の瓦づくりなど歴史ロマンをあげつつ、明治創業の老舗味噌麴店による手づくり白味噌作りを体験していただきます。

山里の熱き思いを知る歩き旅 財田の暮らしって、 どんなんやろ?

日時 11月16日(土)
9:45集合
集合場所 財田庁舎
参加料 1,500円
定員 15人

財田の中心地域を、コスモスを眺めながらぶらぶら。紅葉をバックにうどん遍路・生麴所で舌鼓。財田の守り神「鉾八幡宮」にも参拝し、おいしい空気でリフレッシュします。

そば・ひいで遅く息づいて来た人々のナマの文化を知る 麻の田んぼより、 古代からのメッセージ

日時 11月9日(土)
9:45集合
集合場所 麻公民館
参加料 1,500円
定員 20人

麻地区に人々が住みついた頃から息づいてきた文化の面影が残る足跡を辿ります。知られていない、違った視点での古代文化を楽しくお話しします。